

明石市の文化遺産総合活用推進事業交付申請書（令和7年度補正予算）

年 月 日

明石市 御中

住 所 明石市〇〇町1-2
団 体 名 〇〇保存会
代表者名 〇〇 〇〇〇

明石市の文化遺産総合活用推進事業の助成を受けたいので、下記のとおり申請します。

事業の名称	〇〇神社秋祭りで使用する布団太鼓の修理と公開		
事業の内容	<input type="checkbox"/> (1) 用具等整備（新調） <input checked="" type="checkbox"/> (2) 用具等整備（修理） <input type="checkbox"/> (3) 記録作成・情報整備事業 <input type="checkbox"/> (4) 後継者養成事業 <input type="checkbox"/> (5) 後継者養成拠点整備事業		
	（事業の具体的な内容） 〇〇神社秋祭りで使用する布団太鼓の車輪の修理、修理現場の一般公開		
計画評価指標	地域の伝統行事等への来場者数※来場者とは運営側のボランティアなどです。		
目標値	（現状値）令和7年度 100人 → 令和8年度 120人		
計画評価指標	実施団体の会員数		
目標値	（現状値）令和7年度 50人 → 令和8年度 60人		
担当者 連絡先	担当者 氏名	〇〇 〇〇〇	
	電話	XXX-XXX-XXXX	FAX XXX-XXX-XXXX
	E-mail	abc@def.jp	
	関係書類 送付先	明石市〇〇町1-2	

申請にあたっては、事前に市の事務局までご連絡ください。上記の計画評価指標は必ずご記入ください。具体的な内容は添付の国様式の様式3にご記入ください。

事業計画
(事業番号)

※事業の対象となる文化財や行事等の歴史や由来、地域性等を記載し、地域に古くから継承されている、地域に固有の文化財であることを説明すること。また、対象となる文化財や伝統芸能・伝統行事等の起源を必ず記載すること。
※概ね戦前に始まった祭・行事等に関する事業が補助対象になりますので、留意してください。

事業内容	※事業を実施する保存会等の名称を記載すること。
実施団体 (保存会等名称)	〇〇地区〇〇保存会
対象となる文化財	〇〇踊り 指定の有無 ■ 有 (〇〇市 指定 無形民俗 文化財) □ 無
対象の用具が用いられる 伝統芸能・伝統行事等の名称	〇〇神社例大祭
対象となる文化財の概要及び 上記伝統芸能・伝統行事等の由来・歴史	〇〇地域の〇〇神社においては、・・・という由来があり、・・・が継承されている。 この地域の例大祭や地車は、・・・という特徴があり、・・・のような文化的価値がある。 〇〇踊りは・・・という由来で、〇〇神社例大祭にて奉納され・・・〇〇市無形民俗芸能文化財に指定されている。毎年、〇月〇日に地元で・・・開催されており・・・。 【対象となる文化財・伝統芸能・伝統行事等の起源】 江戸時代には例大祭が実施されていた記録があるが、〇〇踊りは明治初期頃から始まっている。

令和8年度事業の内容	地域伝統行事・民俗芸能等基盤整備				後継者養成支援整備	
	■ 用具等整備 (修理)	■ 用具等整備 (新調)	■ 用具等整備 (災害)	■ 記録作成 ・情報整備	■ 後継者 養成支援	■ 後継者養成 拠点整備
①用具等整備(修理) 〇〇神社例大祭で用いられる〇〇踊りについて、損傷が激しいため、修理を行う。 修理の際は、古くから継承されてきた仕様に基づき、可能な限りもとの部材を生かした修理を心がける。 ②用具等整備(新調) 〇〇神社例大祭で奉納される〇〇踊りで使用する、篠笛5本、扇子1本について、経年劣化による損傷が激しく今後の使用が難しいため新調を行う。専門家の指導のもと、古くから継承されてきた使用に基づき新調するよう心がける。 ③用具等整備(災害) 〇〇で被災した獅子頭2頭について、損傷が激しいため修理(1頭)及び新調(1頭)を行う。修理の際は、古くから継承されてきた仕様に基づき、可能な限りもとの部材を生かした修理を心がける。新調の際は、専門家の指導のもと、古くから継承されてきた仕様に基づき行う。 ④記録作成・情報整備 〇〇神社例大祭について、準備の様子、練習風景、地車の曳航や〇〇踊りの奉納等の様子を映像記録として残し、今後の後継者養成につなげるとともに、普及版を広く一般に公開し情報発信を行う。 ⑤後継者養成支援 〇〇神社例大祭で奉納される〇〇踊りについて保存会会員への講習会を実施する。 ⑥後継者養成拠点整備 〇〇踊り交流会館における建物壁面のクラック補修と稽古場建具の修繕をおこなう						

↑※該当する事業に■を記入すること。

収入内訳	区分	金額 (予定を含む)	自動計算のため、入力不要
	本事業による補助金の 交付要望額	5,738,000	
	本事業以外の 補助金・助成金	500,000	〇〇市補助金
	自己負担金	860,500	
	収入合計	7,098,500	

※要望する全ての事業について簡潔かつ具体的に説明すること。事業内容の審査において重要な項目です。

※内訳に補助金の名称等を記載すること。

※補助事業者が負担する金額があれば記載すること。

※以下、事業ごとに事業内容・経費等を記載すること。金額の記載ミスに注意すること。
※記載欄が足りない場合は、適宜行を挿入して記載すること。

事業区分	用具等整備 (修理)	修理対象用具	来歴	明治初期	修理箇所	屋根・彫刻・祭 礼幕	所有者	〇〇地区〇〇保存会
修理対象用具	①	〇〇町地車	来歴	明治初期	修理箇所	屋根・彫刻・祭 礼幕	所有者	〇〇地区〇〇保存会
修理対象用具	②	大太鼓	来歴	昭和10年頃	修理箇所	皮(両面)	所有者	〇〇地区〇〇保存会
修理対象用具	③		来歴		修理箇所		所有者	
評価指標区分	・祭礼行事への参加住民数							(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標	〇〇神社例大祭への参加住民数							
目標値	(現状値)	令和	7	年度	200	人	⇒	(目

※用具をいつ頃から使用しているかを記載すること。不明・空欄にしないこと。

※所有者は必ず実行委員会等の構成団体であること。またそれを示す書類(構成団体の名簿等)を必ず添付すること。
※社寺所有の神輿等は、社寺が実行委員会等の構成団体であっても補助対象外。

支出内訳	経費内訳				総事業費			
	【請負費】	〇〇町地車修理費用 (見積番号②③)						
	@	4,200,000 円 × 1 式 ×		4,200,000	3,670,000	530,000	0	
	【請負費】	大太鼓修理費用 (見積番号④)						
	@	300,000 円 × 1 式 ×		300,000	0	300,000	0	
	(選択)							
	@			0				
	(選択)			0				
	@	円 × (単位) ×		0				
	(選択)			0				
@	円 × (単位) ×		0					
(選択)			0					
@	円 × (単位) ×		0					
(選択)			0					
支出合計				4,500,000	3,670,000	830,000	0	

※ブルダウンから費目を選択し、右欄に何に対する経費かを記載すること。
※見積書を添付する場合は、見積書に番号をふり、該当する見積書の番号を記載すること。

用具等整備の対象となる文化財の現況

修理・新調する用具等の名称		〇〇町地車										
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 修理 <input type="checkbox"/> 新調	※修理・新調いずれかにチェックをいれること。										
全体写真	修理前	→	修理後									
<p>※対象用具の全体写真及び修理にあたっては修理箇所の現状の写真、新調にあたっては、新調前(買い替え前)の現状の写真を添付し、詳しく状況を説明してください。</p>  <p>1年目修理(屋根)</p> <p>3年目修理(〇〇)</p> <p>2年目修理(車輪)</p> <p>現況写真(全体)</p> <p>事業終了後に修理後の写真を添付して、実績報告書とともに提出していただくことになります。</p>												
<p>複数年度にわたり修理・新調を行う場合 (令和7年度以前に補助金を活用して修理・新調を行った場合又は令和9年度以降に修理・新調を行う予定の場合は分かる範囲で記載してください)</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>令和〇年度</td> <td>屋根の修理</td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>令和〇年度</td> <td>車輪の修理</td> </tr> <tr> <td>3年目</td> <td>令和〇年度</td> <td>〇〇の修理</td> </tr> </table> <p>※用具等を修理・新調する場合は必ず提出が必要です。未提出の場合は審査対象外とし不採択となります。</p>				1年目	令和〇年度	屋根の修理	2年目	令和〇年度	車輪の修理	3年目	令和〇年度	〇〇の修理
1年目	令和〇年度	屋根の修理										
2年目	令和〇年度	車輪の修理										
3年目	令和〇年度	〇〇の修理										
修理箇所①	修理前	→	修理後									
<p>現況写真(部分)</p> <p>現在の状況・修理内容: 〇〇山車については、明治〇年頃に購入されたものを現在まで使用してきたが、経年劣化に伴い、…部分の損傷が激しく、使用するのに支障をきたしている。そこで、…部分について、…材を使用し…従来の仕様で修理を行う。</p> <p>事業終了後に修理後の写真を添付して、実績報告書とともに提出していただくことになります。</p> <p>修理・新調前の現在の状況が分かるように、全体及び該当箇所の写真(データでも可)を添付し、詳しく状況を説明してください。</p>												

修理用具・箇所数に合わせて、適宜、行の追加やシートをコピーしてください。